

津山市長

中尾 嘉伸



新年明けましておめでとございます。

みなさまにおかれましては、輝かしい初春を健やかに迎えのことに心からお喜び申し上げます。

昨年、本市では津山城築城400年という大きな節目を迎え、市民のみなさまとともにさまざまな記念事業を実施してまいりました。この間、本市の優れた歴史・文化を再発見し、市民みなさまとの共有に努めました結果、地域への愛着や誇りの高まりに確かな手ごたえを感じております。

本年10月には「晴れの国おかやま国体」がいよいよ本番を迎えます。おもてなしの心を大切に、関係するみなさまにとって有意義で思い出深い大会となりますよう、万全を期したいと存じます。また、加茂町・阿波村・勝北町・久米町との市町村合併も間に迫りましたが、この合併を行財政改革の最大の機会ととらえ、地方分権の受け皿に足る行財政基盤と10万都市にふさわしい風格を備えた自治体づくりをめざします。そして、懸案である中心市街地の活性化、総合ごみ処理センター建設用地の確保など残された喫緊の課題の解決に向けて全力を尽くす所存であります。

本市にとりまして、この1年は極めて重要な意味を持つ年となりますが、市民のみなさまと知恵を出し合い、ともに汗をかいていくことで、必ずや明るい展望が開けるものと確信しております。県北の拠点都市としてさらなる飛躍を遂げるべく、いっそうのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、みなさまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

津山市議会議長

森西 順次



謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

みなさまにおかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、みなさまの力強いご支援によりまして、市政の向上・充実に微力を尽くすことができましたことを心から感謝し、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、振り返ってみますと、21世紀は変革の世紀といわれており、内外とも多難な年でありました。わが市におきまして、長引く不況による地域産業の不振や台風23号による甚大な被害は記憶に新しいところでございます。こうした中で、みなさまの声を的確に市政に反映させることが私どもの責務であると考えております。さらに、市街地再開発問題、総合ごみ処理センター建設問題、少子・高齢化を中心とした福祉対策など多くの重要課題を抱えております。

ご案内のとおり、本年は新「津山市」誕生の年であります。津山城築城400年記念のメイン事業として復元の進む備中櫓もこの春には完成を見ることとなります。400年のときを超え、往時の姿で数千本の桜とともに新たな門出を祝ってくれることと思えます。

本年を「明るく豊かで住みよいまちづくり」建設の礎の年とするため、また、大空に向かって羽ばたく西のごとく飛躍の年とするため、いっそうのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

みなさまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。